



ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン

エマーシング・マーケット・グロース・ポートフォリオ
クラスA証券

ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)

作成対象期間 第33期(2024年9月1日~2025年8月31日)

第33期末	
1口当たり純資産価格 (クラスA証券)	53.24米ドル
純資産総額 (全クラス合計) (クラスA証券)	556,876,455米ドル 487,091,598米ドル
第33期	
騰落率	16.50%
1口当たり分配金額	該当事項なし

(注)端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、アライアンス・バーンスタイン(以下「トラスト」といいます。)のポートフォリオの一つであるエマーシング・マーケット・グロース・ポートフォリオ(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第33期の決算を行いました。

ファンドの投資目的および投資方針は、新興成長国市場の企業の株式に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。ファンドは、当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

書面での運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.alliancebernstein.co.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

代行協会員

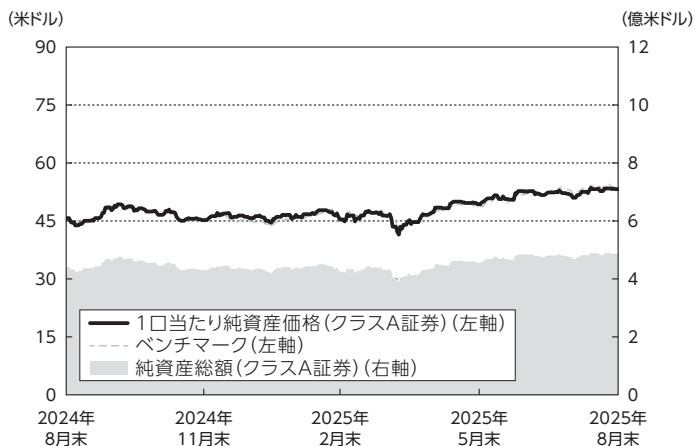
アライアンス・バーンスタイン株式会社

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



第32期末の1口当たり純資産価格:	
(クラスA証券)	45.70米ドル
第33期末の1口当たり純資産価格:	
(クラスA証券)	53.24米ドル
騰落率:	16.50%

(注1)クラスA証券については、分配方針に従い、分配金は支払われておりません。

(注2)ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3)ファンドのベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックスです。ベンチマークの詳細は、後記「ベンチマークについて」をご参照ください。以下同じです。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

○上昇要因

情報技術関連や一般消費財・サービス関連の保有銘柄の価格上昇

○下落要因

素材関連やエネルギー関連の保有銘柄の価格下落

■ベンチマークについて

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。

当該指数に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

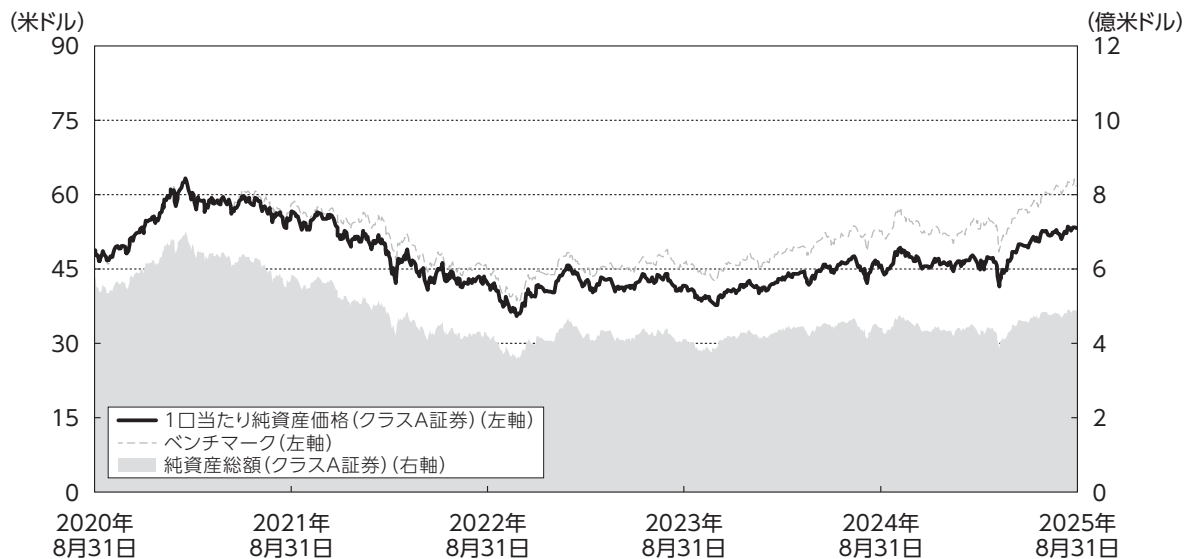
費用の明細

項目	料率／金額 ^(注1)	役務の概要	
(a) 管理報酬	クラスA証券の日々の純資産総額の平均額年率1.70%	管理会社が一括受領し、その中から主に以下の関係法人に対し報酬が支払われます。	
		支払先	役務の内容
		投資顧問会社	ファンド資産の日々の投資運用業務
		販売会社	ファンドの受益証券の販売取扱業務
		代行協会員	クラスA証券に関する代行協会員業務
(b) 管理会社報酬	クラスA証券の日々の純資産総額の平均額年率0.10%	ルクセンブルグのファンド運営および管理に関して提供される業務の対価として、管理会社に支払われます。	
(c) 保管報酬、管理事務代行報酬および名義書換代行報酬	ルクセンブルグの通常の実務慣行に従い、資産を基準とする報酬と取引手数料の組合せとなっています。 管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬の年間の合計額は、通常、ファンドの純資産総額の最大1%です。保管報酬には、別途課されるコルレス銀行の費用、その他一定の税金、仲介手数料(適用ある場合)、借入利息は含まれていません。	ファンドの資産の保管業務、純資産価格の計算等の管理事務代行業務、ファンドの受益証券の登録・名義書換代行業務の対価として、保管受託銀行、管理事務代行会社および名義書換代理人にそれぞれ支払われます。	
(d) その他の費用(当期)	0.10% ^(注2)	税金、専門家報酬、印刷費、その他	

(注1)各報酬については、英文目論見書に定められている料率または金額を記しています。

(注2)「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	第28期末 2020年 8月31日	第29期末 2021年 8月31日	第30期末 2022年 8月31日	第31期末 2023年 8月31日	第32期末 2024年 8月31日	第33期末 2025年 8月31日
1口当たり純資産価格 (クラスA証券) (米ドル)	47.83	55.85	42.46	41.22	45.70	53.24
1口当たり純資産価格の騰落率 (クラスA証券) (%)	—	+16.77	-23.98	-2.92	+10.87	+16.50
ベンチマーク騰落率	—	+21.12	-21.80	+1.25	+15.07	+16.80
純資産総額 (千米ドル) (全クラス合計) (クラスA証券)	783,098 567,008	741,958 575,831	546,099 425,464	603,788 408,130	542,915 442,706	556,876 487,092

(注1) クラスA証券については、分配方針に従い、設定来、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

投資環境について

期初から2024年10月上旬にかけては、広範にわたる景気刺激策を打ち出した中国が株価上昇をけん引しました。米国が金融緩和に踏み切ったことも株価上昇を後押ししました。その後2025年1月半ばにかけては、中東で続く地政学的緊張や中国の経済低迷のほか、米国の関税政策に対する懸念などから軟調に推移しました。1月後半以降は、ブラジルにおける財政収支の赤字解消や国内金利の安定、韓国の金融当局による株式市場改革案発表などを背景に、上昇しました。中国の経済対策に対する期待感や人工知能(AI)産業の拡大観測なども好材料となりました。しかし、3月下旬以降は米国の関税政策に対する懸念などから軟調に推移し、4月初旬には、米国の相互関税引き上げとそれに対抗する中国の報復措置の発表を受けて下落幅がさらに拡大しました。その後、相互関税の一時停止を受けて上昇に転じ、期末にかけては、米国と主要貿易国との関税交渉の進展のほか、半導体や人工知能(AI)の需要拡大、米国の利下げ観測、中国の景気対策強化への期待感などを背景に、おおむね堅調に推移しました。

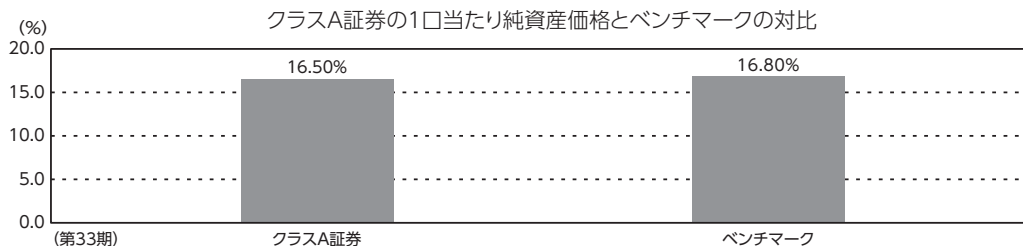
ポートフォリオについて

ファンドは主として新興国の株式および株式関連証券等から成るポートフォリオに投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。運用にあたっては、当期も引き続きアナリストの徹底した調査に基づき、潜在成長力、バリュエーションおよび経営能力がバランスよく優れていると判断される銘柄を厳選して投資しました。

その結果、セクター別配分においては、金融セクター、情報技術セクター、コミュニケーション・サービス・セクターなどが上位となりました。国別配分においては、中国、台湾、インドなどが上位となりました。

ベンチマークとの差異について

以下のグラフは、ファンドのクラスA証券の1口当たり純資産価格とベンチマークの騰落率の対比です。



クラスA証券とベンチマークの騰落率の差異の状況および要因について

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分、銘柄選択ともに、プラス要因となりました。セクター配分では、エネルギー・セクターや素材セクターのアンダーウェイトなどはプラス要因となったものの、公益事業セクターのオーバーウェイトなどはマイナス要因となりました。銘柄選択では、資本財・サービス・セクターや一般消費財・サービス・セクターでの選択などはプラス要因となった一方、金融セクターや不動産セクターにおける選択などはマイナス要因となりました。

分配金について

ファンドは、分配方針に従い、クラスA証券については原則的に分配は行いません。従って、設定来、分配金は支払われておりません。

《今後の運用方針》

ファンドは、今後も投資方針に従って運用を行ってまいります。

ファンドでは、長期的な観点からファンダメンタルズが良好で確信度の高い銘柄への投資を行っており、運用チームが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

《お知らせ》

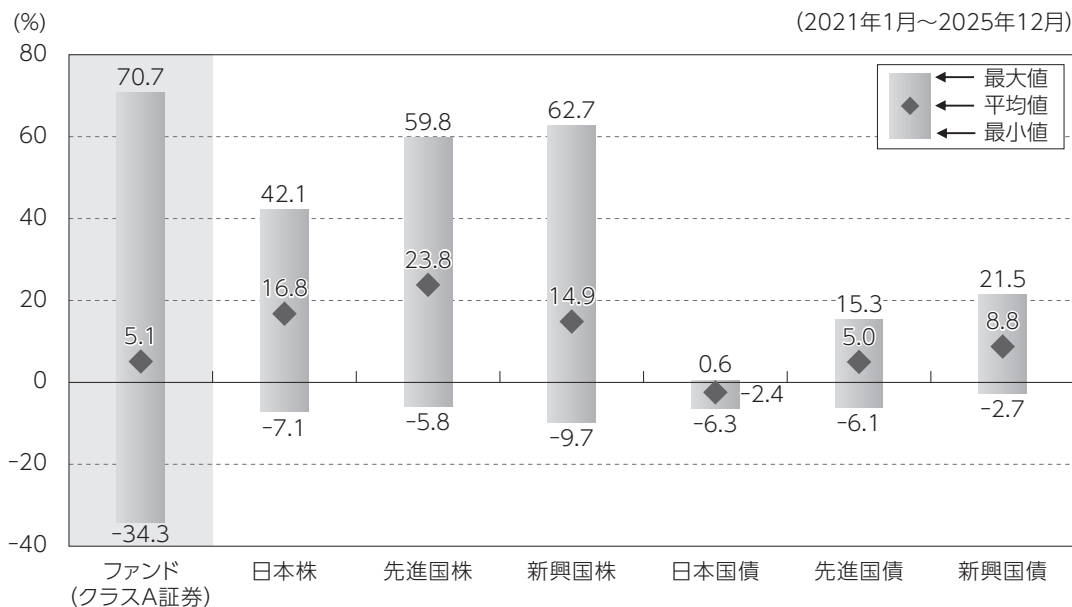
該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)
信託期間	ファンドの存続期間は無期限です。ただし、管理会社の決定により、ファンドを解散することができます。
運用方針	ファンドの投資目的および投資方針は、新興成長国市場の企業の株式に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。
主要投資対象	新興成長国市場にはMSCI Emerging Markets Indexに組入れられている国が含まれますが、それらに限定されません。ファンドは、随時、フロンティア市場にも投資することができます。フロンティア市場にはS&P Frontier Broad Market Indexに組入れられている国が含まれますが、それらに限定されません。
ファンドの運用方法	投資顧問会社は、通常の市況では、ファンドの総資産の大部分を新興成長国市場およびフロンティア市場の企業の株式に投資することにより運用します。ファンドは、その資産の3分の2以上を新興成長国市場の発行体に投資し、かつ純資産の50%以上を株式に投資します。投資銘柄の選定に当り、投資顧問会社は、長期的な成長が見込める好位置にあると判断する優良発行体に投資することを追求します。
分配方針	管理会社は、現在、クラスA証券に関して分配を行わない方針です。従って、クラスA証券に帰属する純収益および純実現利益は、受益証券の1口当たり純資産価格に反映されます。

《参考情報》

■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- 上記グラフは、ファンド(クラスA証券)と代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間のファンドと代表的な資産クラスの年間騰落率*の平均・最大値・最小値を表示したものです。
*ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前におけるクラスA証券の1口当たり純資産価格を対比して算出しております。代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して算出しております。
- 全ての資産クラスがファンド(クラスA証券)の投資対象とは限りません。
- ファンド(クラスA証券)の年間騰落率は、その表示通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

上記の参考情報は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

***代表的な資産クラスの指数およびその著作権等について**

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容(第33期末)

●組入普通株式上位 10 銘柄

(組入銘柄数:65銘柄)

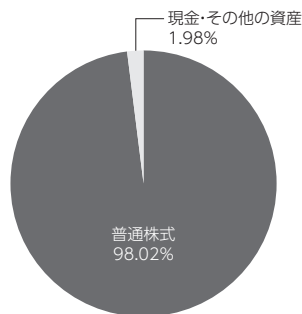
	銘柄名	組入比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	9.33
2	Tencent Holdings Ltd. - Class H	6.05
3	PICC Property & Casualty Co., Ltd. - Class H	3.44
4	SK Hynix, Inc.	3.23
5	Itau Unibanco Holding SA (Preference Shares)	3.19
6	Samsung Electronics Co., Ltd.	2.90
7	Pop Mart International Group Ltd. - Class H	2.79
8	MediaTek, Inc.	2.74
9	Accton Technology Corp.	2.60
10	Alibaba Group Holding Ltd. - Class H	2.39

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

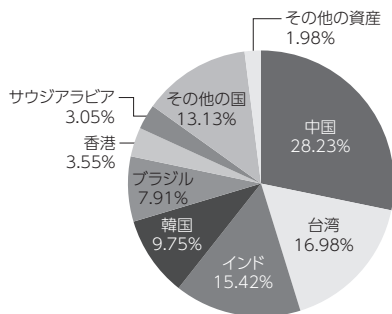
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注3) 組入銘柄数については、財務書類における記載方法と異なることがあるため、重複分を除いた数を記載することがあります。

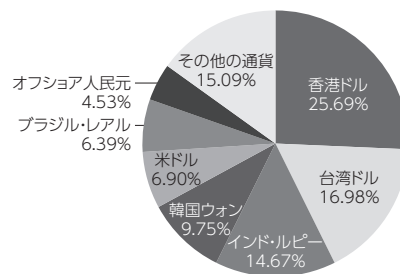
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 比率は四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第33期末
純資産総額(全クラス合計)	556,876,455米ドル
純資産総額(クラスA証券)	487,091,598米ドル
受益証券発行済口数 (クラスA証券)	9,149,748口
1口当たり純資産価格 (クラスA証券)	53.24米ドル

第33期(クラスA証券)				
受 益 証 券 販 売 口 数	乗換口数 (+)	受 益 証 券 買 戻 口 数	乗換口数 (-)	受 益 証 券 発 行 済 口 数
863,257 (0)	8,673 (0)	1,399,580 (0)	8,820 (0)	9,149,748 (1,810)

(注) ()の数は日本国内における販売・買戻しおよび発行済の受益証券口数です。

